



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社免疫生物研究所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代表者 代表取締役社長 清藤 勉  
問合せ先 常務取締役業務執行責任者 中川 正人  
兼事業グループ管理本部長  
電話番号 0274-22-2889 (代表)  
URL <https://www.ibl-japan.co.jp>

固定資産の簿価切り下げ戻し（営業費用の戻し）、  
営業外収益及び特別損失並びに法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2024年3月期連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）において、営業外収益（為替差益及び業務受託手数料）及び特別損失（関係会社貸倒引当金繰入額及び関係会社事業損失引当金繰入額）の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 固定資産の簿価切り下げ戻し（営業費用の戻し）の内容

固定資産の会計処理につきましては、取得した連結会計年度で全額費用計上（簿価の切り下げ）を行ってまいりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化を達成できる見込みとなり、さらに、来期以降につきましても継続して親会社株主に帰属する当期純利益の計上を計画していることから、当連結会計年度における新規取得の固定資産について、簿価の切り下げは不要と判断いたしました。その結果、当連結会計年度末において19,434千円の営業費用（減価償却費）が減少することとなりました。

2. 為替差益（営業外収益）の内容

第3四半期連結累計期間におきまして、営業外収益に為替差益として5,108千円を計上しておりましたが、今般の円安傾向により当社グループが保有する外貨建資産・負債を2024年3月末時点の為替相場で評価したこと等により新たに3,594千円の為替差益が発生し、当連結会計年度では8,702千円の為替差益が発生することとなりました。

3. 法人税等調整額の内容

当連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化を達成できる見込みとなり、さらに、来期以降につきましても継続して親会社株主に帰属する当期純利益の計上を計画していることから、翌年の繰延税金資産の回収が見込めることとなったため、税効果会計を適用し、将来減算一時差異に対して繰延税金資産を計上いたしました。その結果、当連結会計年度において、法人税等調整額を67,908千円計上しております。

4. 業務受託手数料（営業外収益）の内容（個別決算）

第3四半期連結累計期間の個別決算におきまして、連結子会社である株式会社AI Bioから事務処理等を受託していることに対する費用を業務受託手数料として7,118千円、営業外収益に計上しておりましたが、当連結会計年度の個別決算におきまして新たに2,372千円を計上しております。これにより当連結会計年度の個別決算では9,490千円の業務受託手数料を営業収益に計上しております。

なお、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

5. 関係会社貸倒引当金繰入額（特別損失）の内容（個別決算）

第3四半期連結累計期間の個別決算におきまして、当社の連結子会社である株式会社AI Bioに対し資金の貸付を行っている金額について貸倒引当金を計上しておりましたが、当連結会計年度の同子会社の財務状況に鑑み、4,180千円を追加で貸倒引当金に繰り入れ、当連結会計年度では関係会社貸倒引当金繰入額として15,891千円を特別損失に計上いたしました。

また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

6. 関係会社事業損失引当金繰入額（特別損失）の内容（個別決算）

第3四半期連結累計期間の個別決算におきまして、当社の完全子会社である株式会社ネオシルク化粧品の業績に基づき、同社への投資額を超えて当社が負担することとなる損失見込み額を関係会社事業損失引当金繰入額として計上しておりましたが、当連結会計年度の同子会社の財務状況に鑑み、328千円を追加で計上し、当連結会計年度では4,929千円を特別損失に計上いたしました。

また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上